

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
大曲駅周辺地区

平成24年3月

秋田県大仙市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
指標1	生活環境の満足度	%	47	56	62	確定	○	あり	56	平成23年9月	○	-	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	4割強であった満足度が6割近くまで上昇したことから、事業の実施について市民から評価されていると言える。
						見込み	●	なし						
指標2	駅東地区における定住人口	人	2,523	2,723	2,674	確定	△	あり	2,580	平成23年8月	△	-	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	目標値には至らなかったものの、市の人口が減少している中で、事業の進捗にあわせ地区内人口は順調に増加しており、定住促進の効果が現れている。
						見込み	●	なし						
指標3	駅自由通路の通行者数	人/日	840	924	1,532	確定	○	あり	-	-	-	-	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	当該指標については、事後評価時点で確定値で評価したが、今年度も継続して調査したところ、1,563人/日と昨年同様に高い結果を得られた。これは、事業により東西の地域間交流が活発化しており、効果が持続していると言える。
						見込み	○	なし						

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
その他の数値指標1	駅東地区の世帯数	世帯	1015	/	1,116	確定	/	/	1,077	平成23年8月	/	-	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	分譲区画の販売実績も順調に伸びており、世帯数の増加は生活基盤の整備による定住促進の効果であると評価できる。
その他の数値指標2			/	/	/	確定	/	/	/	/	/		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
			/	/	/	見込み	/	/	/	/	/			
その他の数値指標3			/	/	/	確定	/	/	/	/	/		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
			/	/	/	見込み	/	/	/	/	/			

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> 成果を持続させるために 行う方策 	駅周辺のさらなる賑わいの創出と魅力あるまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> 将来土地利用方法について、権利者との個別相談の実施 中心市街地活性化基本計画の認定(H22.11)を受け、健康増進や福祉活動の機能強化を図るとともに、公共交通の利便性向上や大曲駅周辺における交通結節拠点機能の強化、また人々の交流・活動の場を設け、まちの活力と賑わいを創出するための事業を検討・実施 	<ul style="list-style-type: none"> 現時点での権利者の将来土地利用の意向を確認できた。 平成23年8月の全国花火競技大会にあわせて行った商店街等活性化イベントにおいては、計画に対しておよそ232%の来場者があり、中心市街地の賑わい創出に効果をもたらした。 	<ul style="list-style-type: none"> 土地区画整理事業により宅地が整備されたが未利用地も発生していることから、権利者と話し合うなど、これまで以上に柔軟な検討が必要。 今年度成果のあったイベントについては、更なるにぎわい創出のため、内容の充実を図りながら今後も行っていくことが必要。 中心市街地活性化基本計画に沿って今後更に事業を推進し、まちの活性化に向けた事業の実施に努める。
	地域間交流及び施設利用促進	-	-	<ul style="list-style-type: none"> 駅西口だけでなく、駅東口においても、誰もが気軽に利用できるよう、巡回バス運行支援事業等について現状や要望に合わせた具体的な検討が必要。 今後の道路整備等の進捗に伴い、人や車の流れの変化に対応した公共交通体系の検討が必要。
改善策 <ul style="list-style-type: none"> まちづくりの目標を達成するための改善策 残された課題・新たな課題への対応策 その他 必要な改善策 	更なる道路網の整備による宅地開発の推進	<ul style="list-style-type: none"> 地区内道路と環状道路の連結のための事業の着手 地区計画に基づいた開発行為における幹線道路整備について、市と事業者での共同工事実施の要綱の策定 	<ul style="list-style-type: none"> 地区内道路と環状道路の連結のための事業に着手したことによって、地域住民の道路網整備への意識向上につながった。 	宅地開発による定住化を推進するため、地区計画に沿った効率的な道路網整備の検討及び、福田西線の残区間の整備について引き続き検討が必要。
	定住人口増加に伴う安全対策	<ul style="list-style-type: none"> 地域交流センター(はびねす大仙)への案内看板の設置の検討 交通量の増加に伴う安全確保対策として、幹線道路の交差点に信号の早期設置を要請 	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年1月下旬に案内看板が完成した。 平成23年10月下旬に信号の供用開始が実現した。 	井戸堰水路について、農繁期には水量が多い大きな排水路であるため、人が立ち入りしないような安全対策の検討が必要。
	駅東口の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> 全国花火競技大会の際、駅東口に有料臨時駐車場、はびねす大仙に無料臨時駐車場を設置 駅東口の自転車駐輪場の使用料を無料化 	<ul style="list-style-type: none"> 大規模なイベントでの渋滞等の軽減に効果をもたらした。 自転車駐輪場の利用者数が増加した。 	今後も継続して駐車場としての利用、また、それ以外の利用方法等の検討が必要。
	地域交流センター近隣住民への騒音等の防止	<ul style="list-style-type: none"> 施設内にポスター等を貼り、利用者にマナーやルールの徹底を周知 夜間の安全対策として、必要箇所に自動点灯のスポットライトを設置 	<ul style="list-style-type: none"> 騒音等についての苦情はないことから、一定の効果は表れている。 	イベントが重なった時に、多数の路上駐車が見られるため、対処方法の検討が必要。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
施設利用者数の増加	<ul style="list-style-type: none"> 広報やポスター等での施設案内を強化するほか、イベントを実施して施設の認知度を向上させる。 利用者および周辺住民からの要望が多い駐車場の確保について、既存スーパー駐車場の一部借り上げ等を検討する。 施設利用者へ適宜アンケート調査等を行い、改善要望等を把握し、改善に努める。 	平成24年度～	<ul style="list-style-type: none"> イベント等の実施にあたっては、周辺住民の理解を得ることが必要。また、混乱を避けるためにも、事前の周知の徹底が必要。 地域住民の自主的なイベント実施につなげるため、新興住宅地の地域コミュニティの醸成に努めることが必要。

都市再生整備計画(精算報告)

おおまがりえきしゅうへん
大曲駅周辺地区

秋田県 だいせん
大仙市

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(中心市街地のにぎわい再生と住環境改善)</p> <p>・駅西地区及び隣接地において、密集市街地の更新により魅力ある買い物空間を確保し、市街地のにぎわいを再生するため、土地区画整理事業を推進するとともに、良好な住環境形成を図る。</p>	<p>土地区画整理事業(基幹事業/大曲駅前第二地区:市施工)</p> <p>地域創造支援事業(提案事業/土地区画整理事業)</p> <p>まちづくり活動推進事業(提案事業/まちづくり協議会活動)</p> <p>住宅市街地総合整備事業(関連事業/大曲駅前第二地区)</p>
<p>整備方針2(住環境の向上による定住化促進)</p> <p>・駅東地区において、急激な市街化に対し立ち後れた生活基盤施設の整備により、さらに定住化促進を図るため、公園や道路等の整備を行うとともに、新たな交流拠点となる地域交流センターを整備する。公園と地域交流センターについては、災害時の一時避難所として位置づける。</p>	<p>道路事業(基幹事業/市道駅東16号線 L=359m、市道福田西線 L=235m)</p> <p>公園事業(基幹事業/しあわせ公園 A=3,000㎡)</p> <p>高次都市施設(基幹事業/地域交流センター 床面積A=1,200㎡)</p> <p>地域創造支援事業(提案事業/排水路整備事業L=350m)</p>
<p>整備方針3(交通結節機能の強化)</p> <p>・鉄道交通(特に新幹線)と自動車交通の結節点としてより結節機能の向上を図るため、地区計画に基づく幹線道路網整備により国道へのアクセス道路整備で結節機能強化を図る。</p>	<p>街路整備事業(関連事業/駅東線L=620m)</p>
<p>その他</p> <p>○ 事業終了後の継続的なまちづくり活動</p> <p>当地区では、平成15年度に発足したまちづくり協議会を今後も継続的に開催する。また、市商工会議所が中心となって「地域振興活性化事業」により特産品の開発やグリーンツーリズムを含む観光ルートの開発とそれを紹介する市民ガイドの養成など様々な試みを行っていることからこうした団体とも連携し、地域交流・地域活性を図る。</p> <p>○ イベント企画立案の市民参加を図るための方策について</p> <p>地域交流センターやしあわせ公園の整備にあわせて、地域交流を図るためのイベントについて、まちづくり協議会や地元町内会との連携により具体化する方策を検討する。また、市のホームページを利用するなどして市民から意見等を集約する。</p> <p>○ 交付期間中の計画の管理について</p> <p>交付期間中において各種の事業を円滑に進め、目標に向けて確実な効果を上げるために、まちづくり協議会を今後も継続的に開催し、毎年、事業成果について評価や事業の進め方の改善等を行うためのモニタリングを実施する。その結果については、随時市民に情報公開する。</p>	

